

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 4/27 第3号 文責 林

学校教育目標 「自らの未来を切り拓く、心豊かな生徒を育成する」

春季総合体育大会激励会

4月27日(水)の4限目に体育館で春季総合体育大会に向けて、激励会を実施しました。春季総合体育大会は、体育会系部活動が市内の各会場で試合を展開します。試合に先駆け、4月29日(金)の「昭和の日」に西京極陸上競技場で盛大に開会式が行われます。全市の約8000人の中学生が各クラブのユニフォームに身を包み行進する伝統ある行事です。本校からも約100名の生徒が参加します。行進練習の成果を発揮して行進してくれることを願っています。

さて、激励会では、吹奏楽部の演奏にあわせて、各クラブのキャプテンが体育館に入場しました。その後、キャプテンから春季総合体育会への決意表明がありました。決意表明を聴いているとどのクラブも試合に向けて意気込みを感じます。悔いのない試合にしてください。

私からは、3つのこと話をしました。まず、笑顔で試合をしてほしいということです。自分の好きな競技をしているのですから苦しいときも笑顔を忘れないでほしいものです。前向きな気持ちを持ち続けてください。2つ目は、最後まであきらめずに試合をしてほしいということです。途中であきらめてしまうと勝利から遠ざかってしまいます。よく野球は「9回ツーアウトから」といわれます。また、「勝敗は下駄をはくまでわからない」ともいわれます。これは、最後まで何があるかわからないという例えです。最後まであきらめずに試合をすることで幸運にも恵まれるのです。逆に「これでもう勝ちだ」と試合が終わる前に思うことも落とし穴です。3つ目は、チームの団結力の大切さです。言い換ればチーム内でどれだけ思いやりを共有できるかです。試合に出ていたり選手は、試合に出ていない選手のことを考えて試合に臨んでほしいのです。自分は、チームを代表して試合に出ていたり選手は、全力で応援してください。試合に出ていたり選手と出ていない選手の気持ちが一つになることが勝利への近道なのです。

保護者の皆様の応援もお願いいたします。選手の大きな励みになります。なお、応援に来ていたく際には、各試合会場には駐車場がありませんので公共の交通機関等をご利用ください。ご協力をお願いいたします。

